

2020年度 実務経験のある教員等による授業科目一覧表

科目及び教科		単位	時間	担当教員名	授業内容(担当教員の経験及び授業のねらい)	
基礎看護学	看護学概論	2	60	原 久恵	総合病院で看護師として小児～高齢者看護の実務経験がある教員が、看護の概念を捉え、看護の対象の理解及び看護の役割・機能、看護師のコミュニケーションの特徴を理解し、効果的なコミュニケーション技術、健康と生活、看護倫理について、講義・演習を通して学習の支援を行う科目である。	
	看護研究基礎	1	15	橋本 淳子	総合病院に勤務し看護研究の経験をもつ教員が、看護における研究の意義並びに看護研究過程について、講義・演習を通して理解を促す科目である。	
	看護研究応用	1	15	橋本 淳子	総合病院に勤務し看護研究の経験をもつ教員が、事例研究や課題研究を通して事象や看護実践を科学的に思考できるように、講義・演習を通して学習の支援を行う科目である。	
	卒業研究	1	30	廣保 晴美	総合病院に勤務し看護研究の経験をもつ教員が、看護研究基礎・看護研究応用の科目で修得した知識を活用し、実習で経験した事例研究をまとめることを通して、看護についての探求心を養うことができるように支援を行う科目である。	
	共通看護技術		1	30	土井 恵子	総合病院で勤務経験のある教員が、臨床看護に共通して必要となる安全に関する知識・技術の習得を講義・演習を通して学習の支援を行う科目である。
					亀川典子	脳神経専門病院、総合病院の急性期混合病棟での勤務経験のある教員が、臨床看護に共通して必要となる安全に関する知識・技術の習得と、バイタルサイン測定技術の確実な実践ができるように、講義・演習を通して学習の支援を行う科目である。
	生活環境援助技術		2	45	林 清美	大学病院、脳神経外科専門病院での勤務経験のある教員が、人間が生活していくうえで影響を与える環境とは何かについて理解し、健康障害を持つ対象が安全で安楽な療養生活を送るための援助について、実践できるように、講義・演習を通して学習の支援を行う科目である。
					土井 恵子	総合病院で勤務経験のある教員が、人間が生活していく上で欠かせない「活動する」「休息すること」について、健康障害をもつ対象が安全で安楽な生活をするための援助について、実践できるように、講義・演習を通して学習の支援を行う科目である。
	食と排泄援助技術		1	30	麻生 由子	総合病院で勤務経験のある教員が、人間にとって「食べること」の意義、「食べること」に不自由さが生じている対象への援助の必要性、援助方法、看護の役割について講義・演習を通して学習支援を行う科目である。
					下川さおり	総合病院で勤務経験のある教員が、人間にとっての排泄について、健康障害を持つ対象の適切な排泄援助について、実践できるように、講義・演習を通して学習の支援を行う科目である。
	身体の清潔援助技術		1	30	平義 希	大学病院の急性期内科系病棟・総合病院の外来での勤務経験のある教員が、人間が生活していく上での清潔と衣服の意義・役割を理解し、健康障害を持つ対象の「身体を清潔に保つ」「寝衣の着脱」の援助技術を習得できるよう、講義や演習を通して学習の支援を行う科目である。
	診療の補助技術		1	30	廣保 晴美	総合病院の混合病棟・産婦人科外来での勤務経験のある教員が、診療の補助行為に関わる援助方法の基本、検査や薬物療法、創傷管理が必要な対象者が安全に、検査や治療を受けることができるよう講義や演習を通して学習支援を行う科目である。
看護過程		1	30	神波 るみ	総合病院の混合病棟・外科病棟での実務経験のある教員が、看護過程の展開が行える基礎知識を理解できるように、また学習支援に焦点を当て、支援とは何か、学習支援を効果的に行うための方法とは何かについて、講義・演習を通して学習の支援を行う科目である。	
フィジカルアセスメント技術		1	30	亀川典子	脳神経専門病院、総合病院の急性期混合病棟での経験がある教員が、腹部の消化器系と脳神経系のアセスメントをするための観察・評価を指導し、スキルトレーニング及びシミュレーション学習にてフィジカルアセスメントを実践できるように、講義・演習を通して学習の支援を行う科目である。	
基礎看護学	病院環境と生活を理解する実習	1	45	麻生 由子	総合病院で勤務経験のある教員が、基礎看護学で学んだ理論や方法をもとに、対象を取り巻く療養環境を理解し、看護活動の実際を学ぶ。また、看護師の対象へ与える影響について理解できるように、実習を通して学習の支援を行う科目である。	
	日常生活援助実習	2	90	下川さおり	総合病院で勤務経験がある教員が、学生が一人の患者(複数の場合もある)を受け持ち、基礎看護学の講義で学んだ知識をもとに、看護師と共に学生ができる範囲での日常生活援助を実践できるように、実習を通して学習の支援を行う科目である。	
精神看護学	精神看護学実習	2	90	麻生 由子	総合病院の精神科での勤務経験がある教員が、精神看護学の講義で学んだ知識をもとに、精神障害を持つ対象を生活者として捉え、自立に向けた生活を支える看護が実践でき、コミュニケーションの基本的態度を振り返ることができるように、実習を通して学習の支援を行う科目である。	
	成人看護学総論	1	30	林 清美	大学病院、脳神経外科専門病院での勤務経験のある教員が、成人期の特徴と生活・成人保険の動向を理解し、成人期にある人への看護の目的と役割について理解できるように、講義・演習を通して学習の支援を行う科目である。	
	健康管理と疾病予防	1	30	土井 恵子	総合病院で勤務経験のある教員が、健康管理の確立に向けた支援に必要な概念や理論、自己の持っている力を十分に発揮して自律した健康生活を送るために必要な知識と技術について理解できるように、講義・演習を通して学習の支援を行う科目である。	
	生命の危機状態にある人の看護	1	30	林 清美	大学病院、脳神経外科専門病院での勤務経験のある教員が、健康状態の急激な変化や生命の危機状態にある人への看護について、周手術期看護について理解できるように、講義・演習を通して学習の支援を行う科目である。	

成人看護学	疾病を持つ人の生活調整	1	30	亀川典子	脳神経専門病院、総合病院の急性期混合病棟での勤務経験のある教員が、成人期にある対象の健康障害による生活・心理過程の変化に応じた看護について理解できるように、講義・演習を通して学習の支援を行う科目である。
	緩和ケアが必要な人の看護	1	30	麻生 由子	総合病院の婦人科、呼吸器内科で勤務経験のある教員が、がん患者の事例を中心に、患者の症状や思い、患者を支える家族への思いなどを考え、緩和ケアが必要な患者・家族への看護について理解できるように、講義・演習を通して学習の支援を行う科目である。
	成人看護過程	1	15	麻生 由子	総合病院での勤務経験がある教員が、成人期にある人の特徴を考えながら、健康障害のある成人期にある患者への看護を、看護過程を活用し導き出すことができるように、講義・演習を通して学習の支援を行う科目である。
	成人期にある人の生命維持・安定を支える看護学実習	2	90	土井 恵子	総合病院の急性期病棟で勤務経験を持つ教員が、周手術期・生命の危機状態にある対象に対して、成人看護学で学んだ理論や方法をもとに、生命の維持と回復をめざした看護が実践できるように、実習を通して学習の支援を行う科目である。
	成人期にある人の生活調整を支える看護学実習	2	90	橋本 淳子	病院の外科・ICU病棟での勤務経験をもつ教員の指導の元、健康障害をもち生活調整が必要となった対象に適切な看護実践を行う能力を養うことを目的とした実習を行う。特に、退院支援、日常生活動作の再獲得、疾病受容やセルフケアでの健康管理を中心に学習し、実践が行えるように、実習を通して学習の支援を行う科目である。
	成人期にある人の生と死を支える看護学実習	2	90	林 清美	大学病院、脳神経外科専門病院での勤務経験のある教員が、対象を全人的に理解し、苦痛を緩和する援助を実践し、治癒困難な患者への看護について理解できるように、実習を通して学習の支援を行う科目である。
老年看護学	老年臨床看護援助論	1	30	神波 るみ	総合病院の混合病棟・外科病棟での勤務経験をもつ教員が、高齢者の健康障害の段階に応じた看護を理解し、状態を判断するプロセスが理解できるように、講義・演習を通して学習の支援を行う科目である。
	老年看護過程	1	15	神波 るみ	総合病院の混合病棟・外科病棟での勤務経験をもつ教員が、高齢者の疾病の特徴と老化現象の関連、健康な力、生活上の課題を理解し、健康障害の段階に応じた看護を看護過程を用いて展開できるように、講義・演習を通して学習の支援を行う科目である。
	老年期にある人の在宅復帰を支える看護学実習	2	90	神波 るみ	総合病院の混合病棟・外科病棟での勤務経験をもつ教員が老年看護学で学んだ理論や方法をもとに、老年期にある人の在宅復帰を支える看護が実践できるように、実習を通して学習の支援を行う科目である。
	健康障害を持つ老年期にある人の看護学実習	2	90	神波 るみ	総合病院の混合病棟・外科病棟での勤務経験をもつ教員が老年看護学で学んだ理論や方法をもとに、健康障害を持つ老年期にある人の自立に向けて生活を整える看護が実践できるように、実習を通して学習の支援を行う科目である。
小児看護学	小児看護学総論	1	30	下川さおり	総合病院の小児科病棟・外来で勤務経験のある教員が、子どもとはなにか・健康な子どもの特徴・子どもと家族を取り巻く状況や課題、守り支えるための法律・倫理観について理解できるように、講義・演習を通して学習の支援を行う科目である。
	小児看護学実習	2	90	下川さおり	総合病院の小児科病棟・外来で勤務経験のある教員が、講義で学習したことを活用し、健康な子どもを理解する。また健康障害を持つ子どもと家族に対する看護が実践できるように、実習を通して学習の支援を行う科目である。
母性看護学	母性看護学総論	1	30	橋本 淳子	助産師として総合病院の産婦人科病棟で勤務していた教員が、現在の母性を取り巻く状況や課題、そしてそれに関連する法律について解説する。また、講義や演習により性や生殖についての基本的な概念や課題点、生殖機能のメカニズムの理解を促し、各ライフステージにある女性の健康と看護について理解できるように、講義・演習を通して学習の支援を行う科目である。
	周産期にある人の看護	2	45	廣保 晴美	産婦人科病棟、外来を有する総合病院で助産師として実務経験のある教員が、看護師として新しい家族の誕生期にある対象の人々の健康支援と健康問題に対する看護実践を講義や演習を通じて身につけることができるように、講義・演習を通して学習の支援を行う科目である。
	母性臨床看護技術	1	30	廣保 晴美	産婦人科病棟、外来を有する総合病院で助産師として実務経験のある教員が、看護師として産褥期にある母体とその新生児の健康を保つために必要な援助を、事例を用いた講義や演習を通じて身につけることができるように、講義・演習を通して学習の支援を行う科目である。
				橋本 淳子	助産師として総合病院に勤務経験のある教員が、妊娠出産の看護に必要な技術と、健康を保つために必要なアセスメントについて、講義や演習を通じて理解できる科目である。これにより、新しい家族の誕生期にある人々が健康生活を営むための看護実践を行なえるように、講義・演習を通して学習の支援を行う科目である。
母性看護学実習	2	90	廣保 晴美	産婦人科病棟、外来を有する総合病院で助産師として実務経験のある教員が、妊娠、分娩、産褥期にある女性とその胎児、新生児および家族が健康の維持増進に向けた生活を支える看護が、実践できるように、実習を通して学習の支援を行う科目である。	
統合分野	人々の生活と看護	2	60	原 久恵	総合病院で勤務経験のある教員が、臨床実践で起こりやすい医療事故から医療安全の基礎的知識について、講義・演習を通して学習の支援を行う科目である。
				土井 恵子	総合病院で勤務経験があり、現在広島県看護協会の災害支援ナースに登録し災害支援の経験がある教員が、災害看護の基礎的知識の習得を、講義・演習を通して学習の支援を行う科目である。
	統合実習	2	90	土井 恵子	総合病院で勤務経験のある教員が、専門分野での実習を踏まえ、看護チームの一員として実務に即した看護や、生活を支える看護が実践できる基礎的能力を身につけるために、実習を通して学習の支援を行う科目である。
	合計	49	1695		